

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



絆づくりの最も重要な行為！ ～挨拶にこだわる！～

校長通信「熱い心」で伝えてきたことを覚えているかい？一中ではあいさつを、仲間の存在を認め、自分から心を開くことで、仲間の心の扉を開かせ、仲間と心を近づけていく、仲間を思う絆づくりの最も重要な行為と位置づけたい…だったね。そして、あいさつ運動はなぜするのか？それぞれのわが学級の答えは？その目的や意義は、学級の中でしっかりと確認しあえているかい？何より熱を込められているかい？と問いかけ続けてきた。さて、各学級では今回のあいさつ運動をどう振り返っているだろうか。執行部は？毎朝 7:45 に終了して、輪になって振り返りを行っている光景はこれまで何度も見てきた。どんな話をしたのかな？それ以上に前日の短学活や開始前の朝にどんな話ができただろうか。う～ん…。大切なことには「こだわり」が必要だ。「こだわり」がなくなった瞬間から、その人間も集団も崩れていく。そう書いたこともあったね。今そんなことを心に刻んで、気持ちのいい大きな声で、最高のあいさつができている人がいる。相手を元気にし、一中を元気にしてくれている。まさに「あいさつは魔法の力」だ。一方で、「まあ、あいさつなんかいいや」「めんどくさいな」「隣の友達もこのくらいの声やし…」というもう一人の自分に負けてしまっている人もまだまだいるね。ここ最近はそのような人が少し増えていたかな～。これが地域の方へのあいさつとなると、そのレベルは…？しかしそんな中、今朝の1年3組のあいさつ運動は見事だったね～。素晴らしいの一言。多くの人とその光景に出逢った。感じるものはあったかい？通りゆく車の中の人達の笑顔や会釈からは、1年3組のあいさつ運動に込めた思いが間違いなく伝わっているな～と感じた。校長先生が赴任して一年半の中ではピカイチの姿だったよ。あいさつは、絆づくりの最も重要な行為！だから、あいさつにこだわる！いい姿をありがとう。

歌声を一本の束に！ ～指揮者の指先に集めるものは！～

校舎内にいい歌声が響いている。かなり各学級で歌声づくりが進んでいることをうかがわせるようになってきた。そんな中で、グラウンドなど外に出てアカペラで歌っている学級があるね。とってもいい練習だ。地道なパート練習の積み重ね、歌詞の読み込み、ピアノ伴奏とのあわせ、これらにアカペラで指揮者の指先だけを頼りに歌声を合わせる練習が加わってくると、さらに質の高い合唱になっていく。「歌声を一本の束に！」、自分の学級には長年こう言い続けてきた。指揮者の指先一つに全員の視線と思いを集めるんだ。視線と思いを集めていくと、ブレスで、息を吸うタイミングがぴったり合いはじめる。だんだん歌声が一本の束になってきはじめる。ピッタリきた時には、何とも言いようのない一体感が全員の中に生まれる。歌声は集団の質をあらわすバロメーター！本当に一本の束となった歌声をつくるには、ただの勢いだけでは無理だ。その場限りの団結力では無理だ。やはり日々の積み重ねが根っこに必要だ。ごまかしがきかない。だから執行部が訴える日常が大切だ。そして、心の殻を破るためにも外で歌うことには意味が大きい。誰の目にさらされても、自分たちの集団はゆるがず全力で声を出せる。誰の視線も気にせず、仲間の指先に思いを集める。その瞬間、その場所に、ゆるがぬ自分たちだけの空間をつくることのできる集団になっていけ。簡単じゃない。でも、だからやる値打ちがある。絆づくりは闘いだ！頑張れ～。

歌声を一本の束に！熱くなれる瞬間を絶対にのがすな！